

通信

NO. 51
平成29年4月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目

33番11-702号

☎092-409-4177

今月のスケッチ



道の駅うきはには新鮮な野菜や果物がたくさん並びます。

休みの日に時々訪れます。

この道の駅にはウッドデッキがあり、豊かな田園が広がり、遠く山並みが望めます。

=====

スタ
コラ

ソントク 大隈信夫

ある日突然、ソントクは悪者になった。

「多くの方が、僕の漢字さえ知らなかったのに」

「ソントクがあったのか、なかったのか」喧々譁々の論議の中で、大急ぎで辞書を引いて、「村度と書くのか」と改めて知った人もいる。

デジタル大辞泉の解説では、「」・[名] (スル)他人の心

をおしはかることとある。

大辞林第三版の解説では、(名)スル[『村』も『度』もはかる意]、他人の気持ちをおしはかること、推察とあり、さらに、『おしはかる』とは、『ある事柄をもとにして見当をつける(推測する)』という意味で、『他人の心を他の事柄を元に推測する』という意味になり、『村』の字源は『「心」と『寸=長さを測る』という漢字の組み合わせで『心を測る』という意味。他人の気持ちを推測するような意味。『度』は、『ものさし、はかる、たび、わたる』という意味の漢字。字源は『席(むしろ)』と『手で広げる』という漢字の組み合わせで席を広げて長さを測ることを表す。とあった。

僕は自問自答した。

「僕は、本当にそんなに悪者なのか？」

「僕は、日常生活や仕事の場でも度々ある。

例えば、日常の生活の場で良

=====

道の駅「むなかた」を訪れると、横を流れる釣川の河口で、潮干狩りを楽しむ姿が見られた。

潮干狩り シーズン・イン



この「通信」の封筒詰めと宛名シール貼りは、「障がい者の仕事をつくる」NPO法人ホーキーズの皆さんにお願いしています。丁寧な作業を心がけていますが、袋や用紙、宛名カードの材質の影響で、多少のずれやしわ、ゆがみなどはご容赦ください。

好きな人間関係を保つため、他人の思いに心を寄せ配慮するといった生活の知恵としても働いている」

「高齢者の介護施設での僕は、入居者や利用者の皆さんの意を汲み、来し方や思いに寄り添って介護するうえでも重要な役割を果たしてきた」

「障がい者の福祉施設での僕は、利用者の皆さんの病気について理解し、思いやりをもって支援するために、職員として求められる重要なスキルでもあるはずだ」

「どこから僕は、悪者になったのだろうか」

「今、問題となっているソントクとは、どうも違うようだ」

「本来の『他人の思いをおしはかる』が捻じ曲げられて、権力の顔色を窺って、特定の利益のために行動をとるってことか」

「僕は、そんなソントクではない」「僕は、今回の事件に対して多くの人たちの思いや怒りを村度できる」



映画大好きの山ちゃんが、毎回、自分の言葉で執筆します。

山ちゃんの映画観ておぼ記

見知らぬ国で



監督：キム・ドンヒョン
 出演：パク・インス
 チェ・ヒジン
 クァン・ス
 2009年 韓国

脱北者は、韓国社会に適応するため政府機関の「ハナ院」というところで教育を受けた後、住居と生活費を支給され社会にとけ込んでいく…。

本作品は、脱北者が韓国社会でどのように暮らしているかが分かる興味深い作品だけでなく、韓国における外国人労働者や、日本でも行われている海外から花嫁をもらう仕組みなど、様々な問題も描かれている。

物語は、脱北者のジヌクが「ハナ院」を出て高層マンションの一室に入居するが、買い物にでかけて迷ってしまいそのあげく、朝になってやっと部屋に帰る始末…。

ジヌクは、プサンに住む同じ脱北者仲間に会いに行こうとする。

そしてバスの中で不法入国

のベトナム人のティンユンと出会い、一緒に恋人のイエンを探してやるのだが、イエンはすでに結婚して妊娠していた。

失望して泣きじゃくるティンユンをモーターに泊まって慰めるジヌクだったが…。

言葉が通じない二人の会話で、ジヌクが本当に泣きたいのは俺なのにと、泣きながら過去を話すシーンが、とても悲しくせつないもので強く印象に残った。



くまさんの コンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

仕事調べと職務基準



福津市の障がい者福祉施設Fで仕事（職務）調べと職務基準を整備する研修が進んでいる。

この日で6回目。全職員の協力によって、それぞれの仕事の書き出しをおこない、その仕事（職務）を整理し、基準書としてまとめる検討をしている。

この日の「研修振り返りシート」には、「基本的役割や理念を確認することは、今やっている仕事を意識し直すのに大事だと思った」、「仕事の基本を洗い出すことで、自分たちが何をすべきか改めて気づかされた」、「仕事（職務）の基準は“職員の拠りどころ”ということには、とても共感できた」などの感想や「仕事（職務）基準の整理で、少しでも支援の質が上がればと思う」など、積極的な意見も寄せられています。



編集後記

熊本地震から1年。復興は遅々として進まず、まだ、仮設住宅への避難生活を送っている方が45000人にのぼる。

益城町の倒壊した住宅の映像や南阿蘇の崩落した橋や道路などの状況が報じられている。

同時に、商店街の再建や祭りの取り組みなど、復興の取り組みをすすめる住民の皆さんの生き生きとした姿もある。

こうした皆さんに思いを寄せ、道のりの長い復興への支援活動の必要を感じている。

Relationship & Partnership
Bビジネス総研
ビジネス総研株式会社
 福岡市博多区博多駅前4-33-11-702
 ☎092-409-4177 FAX092-409-4170
 Eメール kuma@b-souken.com
<http://www.b-souken.com>